

寺崎組新聞

第八十七号

発行所 寺崎組新聞社

暑い暑いと言っても変わらないのに 暑い暑いと言ってしまうのはなぜ?

第118回組会報告

2007年9月22日、恵那イン
ター出口、高速道路本線の下の日陰
に続々とバイクが集まりました。お
互いに再会を喜び合い、昼飯を食べ
「暑いですねー」
と言ったりしていました。この日の
恵那の最高気温は32.7度と平年
の25.2度を7.5度も上回って
いました。しかし組員達は分厚い長
袖長ズボンを着てヘルメットと手袋
を着けて、暖房しか付いてない乗り
物に乗って、直射日光を浴びながら
ガレ道へ行くことになっていました。

参加者は、組長KTM640LC4E、
4E、地下鉄KTM640LC4E、
金子3号KTM450EXC、アベ
XR650、カバXR650、ゴミ
浦DR改、アミーゴTDR250、
村松岡シエルP250、のむらXR
バハ、フガ金井78年式XL250
s、ミノル86年式XR250R、
以上11名でした。



暑い暑いと言ってしまうのはなぜ? (アベ語録より)

買出しがほぼ終わり、駐車場へ集
まってからも、誰に言うわけでもな
く「暑い暑い」
と自然に口から出てきました。水を
まだ持っていない人は桶を乗り越えて
駐車場の隣の公園へ行き、水を調達
しました。その後金子3号がガソリ
ンを入れている間
「暑い暑い」
と言いつつ時間をつぶし、いよいよ
林道へ向かい北上を開始しまし
た。組長を先頭にしばらくは県道を
快調に飛ばします。11台?もいる
と長い行列になります。数キロ行っ
た所で、列の後ろの方の集団が何か
言いたげの様子なので路肩に停車しま
した。

「1台足りないぞ」
金子3号の姿がありません。ガソリ
ンを入れている間に置いていかれた
形です。
「はるばる遠方からの参加だから探
しに帰ろう」(近くだったら置いて
いくのかよ?)
舗装路最速直線番長TDR・アミー
ゴが代表して戻ってくれました。そ
の間も直射日光を浴びて汗が噴出し
てきました。組長はさらに先の日陰
で停車していました。



登りの高尾高菜下

「先に買出しをする」
との事で、恵那の街へ行列を作って
向かいました。街では祭りの最中で、
ハッピー姿の老若男女が沢山いまし
た。また通行規制もあり、パロー恵

那店へ行くために遠回りをするこ
になりました。パローの中は冷房が
利いていて快適にショッピングを楽
しめました。

見えないところがありました。また
台風の影響か、道の半分がガレた水
流跡になっていたり、道が沢山あり
ました。運転下手な私は今回こそ転
倒しないように慎重に走っていました
た。しかし路面がひどくえぐられて、
確実なコースが読めない道が続くよ
うになってきました。これでは低速
では逆に不安定です。度胸一発、速
度を落とさず突進。組長の指導によ
り今回から振り分けバッグを使い重
心を下げたおかげで何とかクリ
アーできました。

「今のガレ場を戻ったところで野宿
のむら」
「私行けません」
ミノルも心の中で
「今度はコケる」
優しい組長は舗装路を迂回してガレ
場の手前へ戻ってくれたのです。
野宿地は遠ヶ根峠の東、林道横の
広場で標高810m。ペグが良い具
合にささる地面でした。乾杯は17
時前だったと記憶しています。第3
の雑種を非常においしく飲ませてい
ただきました。その後焚き火が始ま
り、各自のスペシャルメニューや手
土産の高級酒が時計廻りに廻り始め
ました。約1名反時計廻りにする人
もいましたが、大きな混乱はありま
せんでした。その後自己紹介タイム、
アベの車内放送、などなどその日は
終わっていききました。



野宿地

翌朝、6時過ぎから朝食準備が始
まりました。再び焚き火を囲んで各
々朝食を食べました。朝の儀式はイ
バラと動物の気配に阻まれて場所の
選定が大変でした。



全員集合

撤収を終え8時半過ぎに出発。今
日は昨日ほど暑くないようです。林
道で岩山の周りを走り、中津川の街
を見下ろし感動。さらに林道を走り、
11時過ぎに国道257号近くの林
道横広場で休憩、そのまま昼飯タイ
ムになりました。KTM450の試
乗会が終わったところで塾はお開き
となりました。塾での走行距離は8
6キロでした。



記 トヤマのミノル



ナチュラルツギ
林道野宿王表
絶景発売中、志印収録
走本書店 一冊10冊

「そんな筈ぢやあ...」 雨の矢筈にて

(組会二日目報告)

二日目はフガ金井が報告いたしま
す。
今日は中津川から南木曾を抜け鳩
打林道を経由して飯田に出ました。
昼食は中津川を望む林道の傍で、
タペウどんに入れそびれた、なめこ
たつぷりのラーメンです。後から思
えばこの旅最後の、晴天下の食事で
した。金子3号さんの450c
の柿バイクの試乗会も開催されま
した。カバさん、地下鉄さんがあた
りがその魅力にぐらっとときてまし
た。また柿色比率が高まりそうです。
私も乗らせていただきましたが赤貧
さんの赤い250ccと同様で
「タンクほそー! かるーい! 足が全
然つかない! はやーい!」
と感嘆詞のオンパレードでした。
その後なごり惜しいですが、富山
のミノルさんは新車のXRと愛しい
奥様が待つ富山に出発です。ボンポ
ヤージ! さんご迷っていたヤンマー
野村はついに決意しました。
「あたしはカバさんとひつまぶしを
食べる!」(カバさん、私も食べた
いです。いつか連れてってください
ネ)

そしてどっかで見たことがあるパハ
とXR650は仲良く、一路名古屋
方面に向かいました。野村さん、あ
なたのなべの蓋はサイコーでした。
ボンポヤージ! 若い二人を見送る組
長の横顔はとても穏やかでした。宿
命のライバル村松岡さんともお別れ
です。浜松のオークション会場に響
くコーランが聞こえてきます。いつ
の日か新型のヤマハかなんかで逆襲
しますよ!!

やがて南木曾に到着です。地元(フ
ガは安曇野市在住)に帰って参りま
した! アミーゴのTDRはガスが限
界です。何軒か日曜閉店の後、やつ
と給油完了です。私はついでに大き
い方も済ませました。そして鳩打林
道に突入。アミーゴTDRは凄
素晴らしい! もろオンロードタイ
をもろともせず、コーナーの立ち上
がりにフルスロットルを当てるその
深さと土煙りに見とれます。今度私
のもう一台の愛車、400Yと直線
番長対決しましょう。これまでのカ
ブといい、敢えてそぐわれないシユ
エーションで果敢に勝負するアミー
ゴの姿勢に昔のH社がダブリます
(「昔のH社はヨカッタ」)

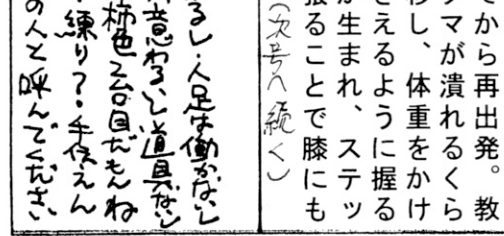
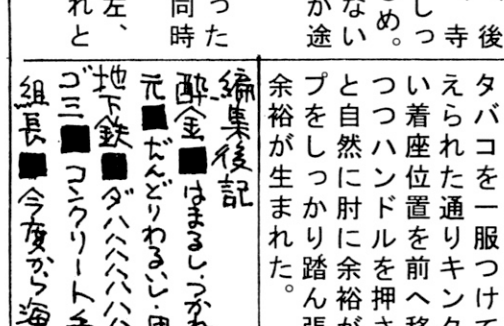
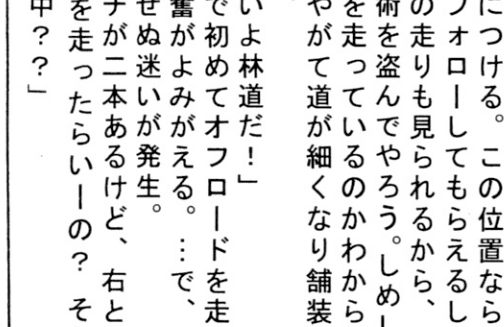
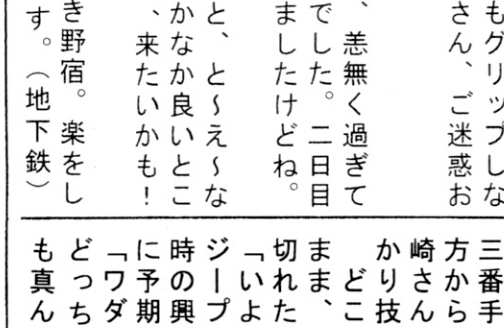
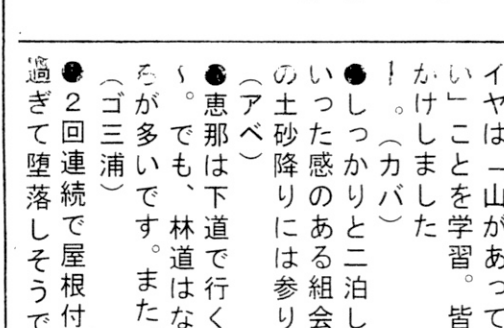
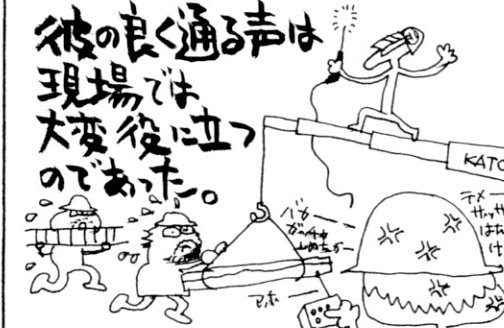
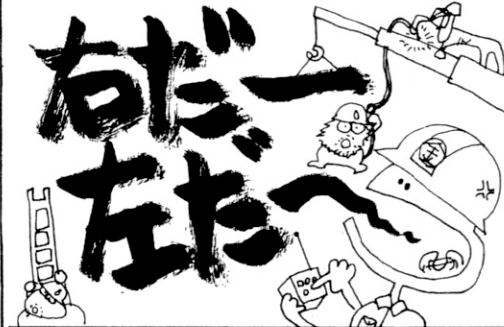
とのおっさんは最近嘆いているん
です。

雨のトンネルを抜けると突如大雨
となりました。ちょうど都合良くあ
った東屋に緊急避難です。ぎゅうぎ
ゆう詰めめ東屋から相棒のXLを眺
めてみましょう。78年初期型フロ
ント23インチホイール、リア2本
サスの大ベテラン、寺崎組長レスト
アのプレミアの一品です。縁あって
この5月から我が愛車となりまし
た。初対面の時は正直どうしようか
と思いましたが、しかしながら年
相応の細かなトラブルは多少
(?!) ありますが、それを補って
余りある魅力が満載です。今回初め
て本格的に林道に持ち込んでみまし
た。Rサスはもはやタダのパネに等
しく、手サス足サスを駆使して重い
車体をいたわりながらの走行です
が、抜群の足つきと23インチの走
破性はなかなかのモノです。シート
も肉厚でどっさり座れてケツメドも
快調! エンジンも低速から絶好
調! 16歳でのブラジル留学時習
得した、アイルトン直伝のセナ足な
らぬセナ手を駆使し、並み居る柿色
や浜松ナンパーかなんかを一蹴しま
す(嘘っ!)。私にとってはほほ理
想の組会バイクです。こんな新型が
ほしいのになあ...

雨が多少小降りになってきました
た。さあ出発しましょう! みんなカ
ツパを着る、着ないでひと悶着です。
結局金子3号さん以外は、ずぶぬれ
になった後むなく着用しました。
飯田市内に下りてもさらに激しく降
りしきる雨、雨。あまりの降り
に、ついに我がXLが突如エンジン
です。転がり込むように喬木村の
スパーに辿り着きました。幸いに
も無事再始動してくれましたが(ホ
ッ)。今夜はこの奥の矢筈の無
料キャンプ場で宴会だー!!



雨が多い中、キャンプ場



この際思い切った煮物に投入しました。今回ばかりは組長絶体信者のフガでさえ一箸もつけないことが出来ませんでした。(すいませんまだまだ修せんが足りないようです)。ゴ三浦さん、今日はカレ風の、きのこと豚肉の炒め物。さすがのアミーゴの轟音スレブも、今日の雨音にはかき消されます。私も豚コマたっぷりのカレーうどんを締めてみました。さあさ・きつちり歯をみがいておやすみなさい。

翌朝、だいたい雨は小降りになりました。みんな(おっさんなので)早起きです。5時すぎには大体起きて朝ごはんの支度が始まっています。組長はついに煮物を諦め、山の住人たちに振る舞うことにしました。私の朝食は必ずご飯と味噌汁です。二日酔い気味の体にはまずコーヒーストリープで味増しが抜群に効きます。今朝のおかずはシャケ入りのしらすとカジキの西京焼きです。アミーゴは(正しいヤングなので)何度も目覚ましを鳴った後、7時頃の起床です。金子3号さんは今日中に、仙台の先まで自走で帰ります。450ccの柿バイクに自転車のぼろぼろの本酒ホントにおいしかったです。ゴスペル(コスプレ?)の奥様と地下鉄さんと、今度一緒にどこかのマラソン大会出場したいですネ。とにかく気をつけてお帰りください。私たちが9時ころ出発です。そぼふる雨に最初からカッパ着用でした。3日目は矢筈トンネルを抜けてR152を北上し、定番の黒河内林道で笠山へ、更に釜無川へのヒミツの林道でR20へ。そして解散しました。天国への螺旋階段のようなナール橋に目が回ります。長い矢筈トンネル抜けてR152に出たところアルミーゴとお別れです。なつかしいとつても綺麗なTDRでした、気をつけて。

黒河内林道は何度来ても走りやすく大好きです。ずーっと登りつめて牧場のゲートに到着するとパツと開ける景色もやっぱり大好きです。入笠山のヒミツのゲートのスリ抜けに多少苦しんだところで昼食となりました。霧が掛かっていますが、本来なら眼下に富士見高原から八ヶ岳の大パノラマがひろがるコトでしょう。今日のお昼はパンです。シートを広げ、すかさず卵をゆでつつ、ついでにハンバーグをあたためます。その後賞味期限切れの半額食パンをストリープでこんがり炙りながら、先ほどのゆで卵をつぶし、マヨネーズ・チーズとまんべんなく和え、塩コショウです。今日は特別に地下鉄さんから賞味期限切れのチキンの照り焼きがまわってきたので、一緒に和えました。最後にゆで汁でコーンスープをつくって、サンドウィッチの完成です!美味しいです。雨が荒しく撤収です。霧雨の中、無意識にダラダラと林道を下ります。ゲートを越えてしばらく下ると、ヘーッ、の工場がこんなところにあると、お別れです。気を付けて!

帰りの道、岡谷まで来ると快晴がありました。でももうカッパを脱ぐ気がありません。ドロドロに汚れたカッパのおっさんのバイクは場違いな空気のまま塩尻峠を通過、松本平に入ります。でもXLともう少し旅をのびたい。でも、そんな気にさせるバイクは久しぶりです。15時無事帰宅。今回の走行距離503km。平均燃費35km/Lでした。足かけ二日、上から下まで全部キレイに洗濯です。ガレージには気持ちよさそうにテントがぶらさがっています。また気持ちよく旅に出発するために

●XLと初めての塾でした。パハよでも家に着いた時、久しぶりにもっと走っていたいと思えました。ランプ類が時々お休みするのも困りものです。特にホーンは鳴りません。せせと5156を吹いています。(フガ金井)

●今回は目標の無転倒を達成しました。また、今まで一番永く付き合ってきた86年式XR250Rで参加する最後の組会になりました。皆様ありがとうございます。(富山のミノル)

●天気良好、避暑を望んで行ったら、暑いあつい、そしてなぜか雨。初日の星空宿、晴れ。北緯35度3分41秒、東経137度22分21秒。二日目のカッパいっしょ宿、北緯35度26分50秒、東経137度56分24秒。GPSを導入し、迷子にならぬよう地図で確認しようとしたら、オラの地図には座標が載っていません。(汗)

●初日は天空で呑んで、二日目は雨の中、少年達のコールを背にカッパのいい仮面ライダーで気分も浮かれ、皆さんと走って呑んで、面白く楽しい恵那ええなりました。今回も大変お世話になりました。(金子3号)

●雨雲と二日酔いが追いかけてきました。(村松岡)

●大荷物でこけてもBAJAは無事でした。丈夫です。(ノムラ)

●今回は直線番長の呼び名も高いTRで参加しました。カブとは違ったしんどさがありました。何で普通のオフロード車にしないんだろうなあ。アミーゴ加藤)

●いつも楽しませていただいています。今回は装備の試行錯誤中。走りがおろそかになったようで、久しぶりに転倒。ついでに7年落ちのタイヤは「山があってもグリップしない」ことを学習。皆さん、ご迷惑おかけしました。(カバ)

●恵那は下道で行くと、とろえろな道が多いです。また、来たかもし(ゴ三浦)

●2回連続で屋根付き野宿。楽をし過ぎて墮落しそうです。(地下鉄)

●恵那組会一人一言

●寺崎組の野宿宴会や「新聞作り」と称する宴会など、組の行事には何度か参加させてもらっているが、「塾」に参加するのは今回が初めて。何を隠そうこの私、自動二輪の免許を取ったのが昨年十二月というテカテカの若葉マーク。舗装されていない場所なんて、走ったこともない。そんな人間が、いきなり強者揃いの寺崎組「塾」に参加しようというのだから、かなり無謀な話だろう。ブルフィルムで発情した小僧が、前バリも持参せず、につかつ口現場へ行くに等しい(どーゆーたと思っだ?)

●これまでジープに乗って二十余年、林道は飽きるほど走ってきたから、林道がどうい道なのかはよく理解している。

●「なあに、ジープと比べたら、バイクなんてタイヤが二つ少なく、駆動力が三つ少なく、排気量が小さいだけじゃないか」

●「ははは。発想がクルマだなあ」。荷物を積み直したり、いつの間にかスーパのビニール袋の即席ザックカバが出来ていたり、みんなこういう状況に慣れていたり、よくやっています。ズレたカゴの固定に、あーでもないこーでもないといっている寺崎さんから入電。

●「なに? コモダがコケた? 酒は無事か!」。幸いにして、宮城の地酒四合瓶二本は無事だった。体もバイクも異常なし。ジープであれバイクであれ、乗り物は体で覚えるもの。転んで学ぶことも多くある。「荷物は重心が低くなるように」「ザックは背負う」「セロウはフロントが軽いから前に荷重をかけるように」「前後バランスを考えて」「ステップをしっかりと踏んで」

●「お、思ったよりも難しいぞ!」

●「頭の中は半分パニック。振られる車体のなすがまま、ワダチをトレースすることもままならず、何とか倒れないように頑張っていたつもりだが、所詮は未経験者。何がどうだったのかわからないまま、あっさりコケた。コケると同時にカゴの中の荷物が散乱。後続の三人が駆け寄りて来てくれた。ありがたや、ありがたや。散乱した荷物を見て、地下鉄さんが、

●「ははは。発想がクルマだなあ」。荷物を積み直したり、いつの間にかスーパのビニール袋の即席ザックカバが出来ていたり、みんなこういう状況に慣れていたり、よくやっています。ズレたカゴの固定に、あーでもないこーでもないといっている寺崎さんから入電。

●「なに? コモダがコケた? 酒は無事か!」。幸いにして、宮城の地酒四合瓶二本は無事だった。体もバイクも異常なし。ジープであれバイクであれ、乗り物は体で覚えるもの。転んで学ぶことも多くある。「荷物は重心が低くなるように」「ザックは背負う」「セロウはフロントが軽いから前に荷重をかけるように」「前後バランスを考えて」「ステップをしっかりと踏んで」

●「お、思ったよりも難しいぞ!」

●「頭の中は半分パニック。振られる車体のなすがまま、ワダチをトレースすることもままならず、何とか倒れないように頑張っていたつもりだが、所詮は未経験者。何がどうだったのかわからないまま、あっさりコケた。コケると同時にカゴの中の荷物が散乱。後続の三人が駆け寄りて来てくれた。ありがたや、ありがたや。散乱した荷物を見て、地下鉄さんが、

●「ははは。発想がクルマだなあ」。荷物を積み直したり、いつの間にかスーパのビニール袋の即席ザックカバが出来ていたり、みんなこういう状況に慣れていたり、よくやっています。ズレたカゴの固定に、あーでもないこーでもないといっている寺崎さんから入電。

若葉中年 林道走行初体験記

まさかこんな単純なことで迷うなんて思ってもみなかった。当たり前のことなのだが、ジープで林道走る時は、右か左かなんて考えたこともない。